

ユニバーサル・ラン



私たちには一人ひとり、性別や年齢、人種、国籍、障がいの有無、性的指向など、異なる属性や特徴があります。多様な人びとがお互いを尊重し、誰もがいきいきと暮らすことができるインクルーシブな社会の実現に向け、今世界全体で取り組みが加速しています。

「ユニバーサル・ラン」は、スポーツを通じて多様性を学ぶ体験授業です。授業では、講師のパラアスリートとの交流やスポーツの体験を通じて、義足や車いすを使いこなすアスリートの身体能力や努力を実感することができます。講義では障がいのある当事者のリアルな経験談に触れていただきながら、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、子どもたちが自分ごととして考える機会となっています。

写真左：大島健吾選手／陸上競技短距離／名古屋学院大学所属

写真右上：宮島徹也選手／車いすバスケットボール／オー・エル・エム・デジタル所属

写真右下：大濱真選手／パラバドミントン（車いす）／スマイルクラブ所属

対象 小学校4・5・6年生

関連する教科 総合学習の時間、道徳、国語、社会、体育

ねらい 年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深める。

指導案
45分
×
2コマ

1時間目

● 体験・実技

- ・アスリートの紹介
- ・義足／車いすについての説明
- ・準備体操
- ・スポーツの体験

2時間目

● 座学

- ・「多様性って何だろう？」を考える
- ・共生社会に向けて、みんなにいい暮らしを考える
- ・グループディスカッション

授業形式・講義資料



体験するスポーツは、義足アスリートによる陸上教室、車いすバスケットボール、パラバドミントン（車いす）より選択いただけます。

世界の義足を使うひとたち

	日本	約 万人	(人に1人)
	アメリカ	約 万人	(人に1人)
	インド	約 万人	(人に1人)
	世界中	約 万人	(人に1人)

LIXIL

実はメガネって・・・



LIXIL

講義では義足や車いすについて学んだり、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、みなが暮らしやすい社会について考えます。

授業を受けた子どもの感想

- これを使いこなす選手ってすごい！努力の大切さを知った
- 自分には当たり前なことも障がいのある人からすると人によって当たり前じゃないことがたくさんあることに気付いた
- 明るく楽しそうに夢を話す先生を見て、自分も簡単にあきらめずに頑張ろうと思った
- 多様性という言葉は知っていたけど、意味までは分かっていなかった。授業の後は人に説明できるくらいになった

先生の感想

- 子どもたちが、様々な立場の人の存在を、自然な形で受け入れるようになった
- 子どもたちに、障がいのある人への偏見がなくなった ● 子どもたちの目の輝きが違った
- これまで総合学習で学んできた福祉のテーマとつながり、理解が深まった

講師を務めるアスリートからのメッセージ

- 夢の大切さ、パラスポーツの魅力を伝え、子どもたちの障がい者に対する意識や考え方を変えたい
- 義足になって初めて知る世界がありました。この授業をきっかけに、子どもたちにもいろんな世界を見て、知って、そして自分の世界を広げてほしい
- 義足の人もそうでない人も、一緒にスポーツをする時間を過ごしながら、世の中にはいろんな人がいて、それも普通なんだってことを感じられる機会であってほしい
- パラスポーツをきっかけに、パラスポーツの魅力と障がいのことも理解してもらい、心のバリアフリーを目指していきたい